

## 例言

- 一 本書は、原則として幕末から昭和五十年代までの近・現代薬業史資料を収録した。
- 一 資料は項目別に分類し、各項目にあっては原則として年月順の配列とした。年不詳のものは、各項目の末尾に収録した。
- 一 資料には、一連番号と資料の内容を示す標題を付けた。標題には資料の年月を記した。
- 一 原本に表紙のある資料を採録した場合、(表紙)「」によって示した。
- 一 字体は常用漢字のあるものは、原則としてこれを用いた。変体がなは、も、て、へ、と、も、は、氏、氏などの合字は、トモ、トキなどのもとのかなにした。
- 一 書判は(判)、印は(印)、(印)などで表わした。
- 一 朱書、裏書、付紙は「(朱書)」、「(裏書)」、「(付紙)」によって本文と区別した。
- 一 虫くい、破損などで原文が解読し難い場合は、その字数を推定し、□□□で示し、字数の推定できないものは、およその字数を推定し、□□□と示した。
- 一 編者の付けた注には、( )をつけて本文と区別した。また、原本の文字に誤書のあると思われるところには、左のように注を付けた。

(マム) 文字は明瞭であるが、意味のとおらない場合。

(□カ) 書き違い、あるいは写し違いで、明らかにその文字と推定できる場合。

(衍カ) 衍字(不要文字)挿入と思われる場合。

一 新聞、雑誌などのふりがなは、原則として略したが、必要と思われるものは、そのまま残した。

一 資料の出典および所蔵は、末尾に( )で記した。書籍および定期的雑誌などは『』をつけて記し、その他論文などは「」とした。